

伊達市立月舘中学校

教科名等：学級活動

単元(題材)名：男子、女子…同じ？ちがう？

～男女のちがいをどう考えるか～

学 年：第1学年

実施状況

<ねらい>

現在や将来の生き方について、性別に制約されない考えを持ち、男女が互いに理解し合い、尊重し合う必要性があることに気づく。

<授業内容>

まず、男性（女性）の中で働く女性（男性）の例を示し、職業と性別役割について考えさせた。次に、男性と女性にはそれぞれ特性があることを理解させた上で、その性差は絶対的なものではないことに気づかせた。その上で、職業に就く際に大切なものは性別役割ではなくて適性であることを理解させ、男女が協力し合う社会の実現について考えさせた。

生徒の感想

- ・ 男性の多い職業の中で、がんばっている女性がいるのはすごい。
- ・ お互いを大切に考え、適性を認め合うことが必要だと思った。
- ・ 男女差別のない社会にしたい。
- ・ イメージにこだわらないことが大切だ。
- ・ 男子に多い・女子に多い職業がある。
- ・ 性別に関係のない職業もあれば、男性と女性で仕事の内容を区別する職業もある。
- ・ 「自分にあった職場」なら性別は関係ないと思った。

参観者の感想

- ・ 男女の役割や仕事について、見直す良いきっかけができたと思います。伸びやかに自分がやりたい仕事をみつけてほしいです。
- ・ 職業観に関する指導は、1年生の頃から計画的に行うことが大切であると感じました。
- ・ 世の中の流れが学校に生かされ、学べることが大変すばらしいと感じました。
- ・ 日本の枠にとらわれず、世界を意識し、日本人として立派な人格育成には必要な時間であると考えさせられました。

指導者の感想

- ・ 男女20名ずつのバランスのよい学年であり、小学生の時から男女をあまり意識せず、協力し合える生徒が多かった。今回の授業でも、男女の違いを理解した上で、お互いが協力し合うことの大切さを改めて自覚するきっかけになったと思う。
- ・ 今後も、お互いを大切にする気持ちを持ち続け、男女共同参画社会が実現できるように、生徒たちとともに考えることが指導者としても必要であるとする。
- ・ 現在、職業選択は、固定的な性別役割に制約されることがあることは事実だが、今後生徒が、「男女が互いに理解し合い、尊重し合い、協力し合う」考え方を持つための基礎は、できてきたように思われる。これからも、機会を見つけて生徒たちに考えさせたい。